

令和5年度学校評価における就職指導部

2024/1/31
木更津総合高等学校
就職指導部 寺岡 和貴

点検・評価項目	分掌内評価 3 優れている 2 適切 1 改善が必要	点検・評価項目の総括	今年度の傾向、特記事項
各事業(人事 部)と木更津 公共職業安 定所との連 携等	3	・求人状況：コロナ禍後の影響は少なく「超売り手市場」と呼ばれるように企業は人材採用に力を入れている。例えば給与や休日日数が増えるなど待遇面での優遇措置が目立った。その半面、全国規模で高卒就職希望者の減少が目立った。 ・オンライン求人票：昨年度より導入した「HANDY進路指導室」に続き今年度はキッズコーポレーションが提供する「シューサポ」も導入した。学校での求人票検索だけでなく、生徒が自宅で家族と検討できるよう配慮してある。 ・夏期講習：7月28、29、31、8月1日に実施した夏期講習では、一般常識・SPI、作文、面接、PCスキル等、採用試験で内定につながる効果の期待できる分野に焦点を絞り実施した。 ・面接指導：採用試験において面接は必須であり、6月の模擬面接、7、8月の夏期講習、9月の面接練習において面接指導を多数実施した。1人最低3人の教員に指導してもらうよう指示をして実施した。 ・就職指導：生徒の話を親身になって聞き、生徒の能力や適性を考慮した指導ができていた。	・求職状況：就職内定者104名(うち公務員合格者6名)である(昨年度は115名内定)。夏の猛暑が影響し、7、8月に実施した職場見学後に男女共に現場職や屋外での業務を避ける傾向があった。 ・オンライン求人票：掲載した求人票の数はHandy進路指導室、シューサポ共に3,046件をアップロードした。家族でオンライン求人票を閲覧し、就職指導室に相談に来る生徒も目立った。 ・夏期講習：74名の生徒(一般企業59名、公務員16名)が参加し、今年度は欠席者があまり目立つことなく4日間熱心に受講した。就職指導部教員11名が講師を担当し、専門分野を中心に熱心な指導をしてくれた。 ・面接指導：6月に実施した模擬面接は64名が参加した。その後、夏期講習での集団面接練習を経て、9月16日から始まる採用試験に向けて教員が一丸となって面接指導に対応できていた。 ・就職指導：単に会社のネームバリューや給与面にとらわれずに、生徒の希望と能力、適性を考慮して将来やりがいの持てる企業かを判断し指導に取り組めていた。
公務員指導	3	公務員希望者は9月に実施された一次試験を突破するための学力が身につくよう指導を心がけた。具体的には普段の課題、放課後講座、夏期講習、清和大学公務員講座との連携などである。また一次試験を通過した生徒に対しては二次試験の準備として面接はもちろん、グループワークやプレゼンテーションなども入念に指導を心がけた。	公務員合格者は7名だった(昨年度合格9名)、うち県職員1名、警察官2名、消防官1名、自衛官3名である。特徴として9月の一次試験である学力試験を突破した生徒が例年よりも少なかった。最後まで合格できなかった生徒に対しても進路変更の指導なども適切に行ない、全員が進路を決めることができた。
インターン シップ	3	4月から6月まで実施し、主な実習先は日本製鉄やJFEでの製造職やイオンモールやアウトレットでの販売職、建築業、ゴルフ場・ホテルなどのサービス業、イベント業、美容業、保育園、警察、消防、自衛隊、木更津市役所などである。	今年度は依頼した団体数57、そのうち実施した47、参加生徒は130名であった。自分の進路を考慮し、就職希望生徒だけでなく進学希望生徒も積極的に参加した。特に木更津市役所では生徒の希望する課をそれぞれ体験させてもらった。またある体験先からは今回始めて生徒の評価、特に言葉遣いに注意を頂いた。次年度以降、事前指導を徹底したい。
受付実践	3	平日2、3校時に実施。来客対応、お茶出しや郵便物を各教員への配布などの業務を通じてビジネスマナーや敬語を学ぶ。生徒は1日つき1人のみ実践し、指導教員との濃密な時間を通じていずれは就職するための心構えと素養を身につける。	今年度は第3学年女子28名が実践に参加。9月4日より開始し、一人ひとりが緊張の中、慣れない手付きでお茶出しや来客対応、郵便物の配布を実践した。来校者は皆、このような実践は非常に珍しく、生徒が緊張する中で真剣に取り組む姿を微笑ましく見守り高い評価をしてくれていた。
その他	2	遅刻・欠席対策：就職希望者の遅刻や欠席を減らす指導として、今年度は就職指導室に足を運んだ1、2年生に対して実施した。 就職指導：原則として生徒は希望した企業の試験を受けられるが、現実問題として生徒の適性や能力を考慮した場合、内定が困難な場合もある。理想と現実のギャップを埋める指導を心がけた。	遅刻・欠席対策：少数ながら就職指導室に来た1、2年生に対してできるだけ皆勤や精勤を目指すように諭した。また昨今の就職希望者減少を踏まえ、今年度は教室での遅刻・欠席を減らすための指導は実施しなかった。 就職指導：生徒の家族や知人、または就職指導部以外の教員が善意で特定企業を生徒に紹介してくれることがある。しかし時に生徒の適性や能力を考慮しないで難易度の高い企業を勧めることもある。今後は生徒本人の意志を考慮し、家族や指導部以外の教員とも連絡を密にしてこの問題を解消していきたい。